

## 第7回アジア・スマートシティ会議

### 開催速報

「アジア・スマートシティ会議」は、アジア新興国諸都市の代表者や、企業・国際機関等の有識者が一堂に会し、経済成長と良好な都市環境が両立する持続可能な都市づくりの実現に向けた議論を行う国際会議です。第7回となる今回は、世界銀行東京開発ラーニングセンター及びアジア開発銀行研究所と初めて合同で開催し、共創による革新に向けた「マーケットプレイス」をテーマとして、様々なプログラムを開催しました。14カ国から約30の都市・政府機関、企業、学術機関の各代表など計約500名が参加し、過去最大規模となりました。

初日の市内視察に続き、2日目の分科会では、廃棄物処理や交通、省エネ、防災など、新興国の都市課題について、解決策を探るとともに、新たなテクノロジーが都市に与えるインパクトについて、理解を深めました。さらに、3日目は、パネルディスカッション、基調講演、ラウンドテーブル・セッション等を通じて議論を深め、クローリング・セッションでは、「第7回アジア・スマートシティ会議・横浜宣言」を発表しました。

併催イベントでは、「横浜インフォ・マーケット」やビジネスフォーラムの開催により、民間セクターの参画が促進されたほか、ユースイベント2018では、横浜市立大学の学生が研究成果を発表しました。



写真提供:世界銀行 TDLC



## 第7回アジア・スマートシティ会議及び併催イベント概要

主催	横浜市
共催	世界銀行東京開発ラーニングセンター、アジア開発銀行研究所
後援	内閣府、外務省、財務省、環境省、地球環境戦略研究機関（IGES）、JICA横浜、横浜市立大学
会場	ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
参加者	約 500 人
全体テーマ	共創による革新に向けた「マーケットプレイス」 ～スマートシティ・プロジェクトの創出と都市の創造的な変革への挑戦～
都市・海外 政府機関	バタンバン、プノンペン（カンボジア）、南京（中国）、フィジー地方自治省、ナウソリ（フィジー）、ジョージア地方開発・インフラ省、トビリシ（ジョージア）、インドネシア国家開発計画庁、バンドン（インドネシア）、福岡、北九州、神戸、横浜（日本）、アスタナ（カザフスタン）、チョイバルサン、ダルンザドガド、オルホン県、ゴビ・アルタイ県、マンダルゴビ、ウブルハンガイ県（モンゴル）、パキスタン国、ラワルピンディ（パキスタン）、フィリピン国メトロマニラ首都圏開発局、フィリピン基地転換開発公社、セブ州/メトロセブ開発調整委員会、セブ、ダナオ（フィリピン）、マドリッド（スペイン）、バンコク（タイ）、タシケント（ウズベキスタン）、ホーチミン（ベトナム） ※国名（都市名）アルファベット順
日本政府 国際機関 学術機関 企業等	日本政府(内閣官房、外務省、財務省、国土交通省、経済産業省、環境省)、アジア開発銀行、アジア開発銀行研究所、C40、ファウンダシオ・メトロポリ、ICLEI-持続可能性を目指す自治体協議会日本事務所、IGES、国際協力銀行（JBIC）、海外通信・放送・郵便事業支援機構（JICT）、JICA、海外交通・都市開発事業支援機構（JOIN）、海外環境協力センター（OECC）、UN-HABITAT、UR 都市機構、世界銀行、世界資源研究所（WRI）、バングラディッシュ大使館、インドネシア大使館、フィリピン大使館、亜細亜大学、横浜市立大学、横浜国立大学、Accenture Digital、Amata Corporation PCL、Arthur D. Little、アジア航測(株)、Dassault Systèmes、エックス都市研究所、Faurecia、(株)ファインテック、(株)グッドマン、Google Earth、GreenPlace Assets、(株)グーン、(株)日立製作所、アイフォーコム(株)、日本気象協会、JFE エンジニアリング(株)、(株)JVC ケンウッド、日本電気(株)、日産自動車(株)、One Concern、(株)パスコ、SRPOST Inc.、(株)竹中工務店、都市拡業(株)、世界経済フォーラム第四次産業革命日本センター、横浜コミュニティデザインラボラトリー、その他一般参加企業・団体
併催会議等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 横浜インフォ・マーケット</li> <li>● ビジネスフォーラム「企業と自治体が担う、SDGsで創る持続可能な都市」</li> <li>● 横浜ユースイベント2018</li> </ul>

### 【プログラム概要】

日程	午前	午後	夜
11/13 (火)	—	<b>スマートシティ開発に関する 現地視察</b>	<b>レセプション</b> (世界銀行主催)
11/14 (水)	<b>分科会①</b> 【併催】ビジネスフォーラム (10:30-12:30)	<b>分科会②</b> 【併催】ユースイベント 2018 (14:00-16:30)	<b>歓迎レセプション</b>
	【併催】横浜インフォ・マーケット (10:00-16:00)		
11/15 (木)	<b>パネルディスカッション</b>	<b>全体会議</b>	
	【併催】横浜インフォ・マーケット (9:30-14:00)		

【第1日】 11月13日（火）

## スマートシティ開発に関する現地視察

【時 間】 13:30-17:00

【参加者】 約 70 名

- 【視察先】
- 横浜市新市庁舎（2020年に完成予定の環境に最大限配慮した低炭素型の市庁舎）
  - 水・環境ソリューションハブ（北部第二水再生センターと北部汚泥資源化センター）
  - 廃棄物からエネルギーへ（資源循環局都筑工場と缶・びん・ペットボトル選別施設）



【第2日】 11月14日（水）

## イントロダクション

分科会に先立ち、会議のねらい等を共有しました。

【時 間】 9:15-9:45

【参加者】 約150名



写真提供:世界銀行 TDLC

## 分科会

開発途上国の意思決定者らとソリューション提供者らの対話促進を目的とした分科会を、午前と午後各 4 セッションずつ実施しました。各分科会では都市の代表者が特定の開発課題を発表し、国内外からのソリューション提供者（企業、学術機関など）が、技術や製品、能力開発支援など、課題に対処するためのソリューションを提案しました。



写真提供:世界銀行 TDLC

【時 間】(午前) 10 : 00-12 : 30 / (午後) 14 : 00-16 : 30

【参加者】約 250 名

- 第1分科会：上下水道と廃棄物
- 第2分科会：交通
- 第3分科会：エネルギー効率
- 第4分科会：災害レジリエンス
- 第5分科会：スマートシティに向けた都市インフラの提供
- 第6分科会：土地開発におけるビッグデータ/オープンデータの活用
- 第7分科会：製造業と産業の革新
- 第8分科会：スマートテクノロジーを活用した市民参加

### 【併催イベント】ビジネスフォーラム「企業と自治体が担う、SDGsで創る持続可能な都市」

日経 BP 社が事務局を務める日経 ESG 経営フォーラムによりビジネスフォーラムを開催し、SDGs に先駆的に取り組む各機関を招き、講演を行いました。

【時 間】10:30-12:30

【参加者】約80名

【講演者】

- 世界銀行東アジア・太平洋地区プラクティスマネージャー フランシス・ゲスキア氏
- アジア開発銀行 持続可能な開発・気候変動局局長 ウム・ウーチョン氏
- 横浜市温暖化対策統括本部 環境未来都市推進担当部長 保坂研志
- 大川印刷株式会社代表取締役社長 大川哲郎氏



### 【併催イベント】Yokohama Youth Event 2018

このイベントでは、株式会社日新から資金協力を得て、日本の中小企業が海外展開をするうえでの課題や今後の展望について研究した成果を、横浜市立大学の学生が発表しました。

【時 間】14 : 00-16 : 30

【参加者】約70名



写真提供：世界銀行 TDLC

【第3日】 11月15日（木）

## パネルディスカッション

前日の分科会で取り上げられた論点を整理するとともに、総合的な都市開発や、新たなテクノロジーが都市開発に与える影響について、議論を行いました。

【時 間】 9：30－12：00

【参加者】 セッション1：約150名、セッション2：約150名



写真提供：世界銀行 TDLC

### ● セッション1：包括的な都市開発（9：30－10：40）

モデレーター 世界銀行東アジア・太平洋地区プラクティスマネージャー フランシス・ゲスキア氏

- パネリスト
- ・国土交通省都市局 官房技術審議官（都市） 徳永幸久氏
  - ・横浜国立大学副学長 中村文彦氏
  - ・横浜市立大学教授 鈴木伸治氏
  - ・アマタコーポレーション PCL チーフ投資オフィサー レナ・ング氏



### ● セッション2：革新的な技術（10：55－12：00）

モデレーター 世界銀行東京開発ラーニングセンター・シニアオフィサー ダニエル・レビン氏

- パネリスト
- ・アクセンチュア・デジタル マネージングディレクター クリスティーヌ・レオン氏
  - ・日立製作所アーバン&ソサエティ推進本部 公共企画本部長 甲斐隆嗣氏
  - ・日産自動車 CIO トニー・トーマス氏
  - ・亜細亜大学教授 岡村久和氏



## 全体会議

【時 間】 14 : 00 – 16 : 50

【参加者】 約170名

### ● オープニングセッション



- ・ 開会あいさつ 横浜市長 林 文子
- ・ 基調講演 環境省政務官 勝俣孝明氏  
外務省地球規模課題審議官 鈴木秀生氏
- ・ ビデオメッセージ UN-HABITAT事務局長 マイムナー・モハメド・シャリフ氏  
C40事務局長 マーク・ワッツ氏

### ● ラウンドテーブル・セッション

これまでの総まとめとして、それぞれの機関におけるスマートシティ推進に向けた独自の取組や、都市間連携の取組について、知見を共有しました。

モデレーター 地球環境戦略研究機関(IGES)理事長 武内和彦氏

パネリスト ● 世界銀行 東アジア・太平洋地区プラクティスマネージャー フランシス・ゲスキア氏

- アジア開発銀行 持続可能な開発・気候変動局 都市セクターグループ・チーフ  
マノージュ・シャルマ氏

- 横浜市 温暖化対策統括本部長 薬師寺えり子

- メトロセブ開発調整委員会 ディレクター エブリン・カステロ氏



写真提供：世界銀行 TDLC

## ● クロージング・セッション

前日に行われたYouth Eventの成果発表の後、ASCCの議論をまとめた「横浜宣言」を発表しました。



学生スピーチ  
横浜市立大学 有泉 歩美氏



横浜宣言  
横浜市国際局長 赤岡 謙

写真提供：世界銀行 TDLC

### 【参考和訳】

#### 第7回アジア・スマートシティ会議における「横浜宣言」

私たちは、アジアにおけるスマートで持続可能な都市の成長を実現するため、都市間協力や、都市と国際機関との連携を強化することを目的として、過去7年間にわたって「アジア・スマートシティ会議」を開催してきました。

この間、「持続可能な開発目標（SDGs）」、「ニュー・アーバン・アジェンダ」、「パリ協定」などの国際的な目標が採択され、また近年では、ゼロ・カーボンという高い目標に向けた都市の連携が進むなど、国際社会では、持続可能な成長に向けた動きが加速しています。こうした中、市民の暮らしを直接的に支える都市の果たすべき役割は、一層大きくなっています。また、住みやすい都市を目指し包括的に生活の質を向上させる革新的な解決策を政府と民間が共に創るために、協働のためのプラットフォームを活用し共に計画を立てるなど、市民の積極的な参画が必要です。

今回の会議では、「共創による革新に向けたマーケットプレイス」をメインテーマとして、水、廃棄物、交通、省エネルギー、防災などの都市課題に加え、AIをはじめとした新たなテクノロジーが都市に与えるインパクトについて、都市課題とソリューションが一体的に議論されました。

また、パネルディスカッションでは、包括的な都市開発、革新的な技術に関する知見の共有と、今後の方向性を議論しました。こうした議論を踏まえ、全体会では、国境を越えて多様な主体が連携することにより、学び合うことの重要性について理解を深め、参加者は以下の考えに至りました。

多様な参加者による多角的な議論は、効果的で革新的なソリューションを生み出す源泉です。「アジア・スマートシティ・アライアンス」のようなプラットフォームについて、Peer to Peer（複数の主体による多角的なつながり）を強化し、アイデアや経験、イノベーション事例を共有する理想的な場として機能させます。その際、新たなテクノロジーを適切に取り入れながら、持続可能な都市の成長を目指します。また、この会議を通じ、持続可能な都市を共に創るという開発目標を達成するにあたり、民間部門の潜在的な能力と可能性を認識しました。

私たちは、この宣言の内容を、今年12月にポーランドで開催されるCOP24（国連気候変動枠組条約第24回締結国会議）をはじめ、関係する国際会議において報告します。

## ネットワーキングイベント等

### 横浜インフォ・マーケット

横浜市と一般社団法人YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE が連携して、横浜市が持つ街づくりに関するノウハウに加えて、横浜の企業が持つ技術を紹介しました。また、都市課題へのソリューションを求め新興国都市と、ソリューションを提供する企業の出会いの場を提供しました。

【時間】 11月14日（水）10：00～16：00／11月15日（木）9：30～14：00

【出展者】 ComPower(株)、(株)フェニック、(株)ファインテック、(株)JVC ケンウッド、日本電気(株)、日本原料(株)、都市拓業(株)、公益財団法人地球環境センター（GEC）

【発表者】 公益財団法人地球環境センター（GEC）（14日）

一般社団法人YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE（15日）

【面談件数】 10件



### レセプション／ネットワーキングランチ

会期を通じて、都市の代表者、ソリューションプロバイダー、国際機関関係者など、会議参加者のネットワーキングを促進する様々なイベントが行われました。



世界銀行主催レセプション

11月13日（火）18：00-20:00

場 所：ロイヤルパークホテル  
70階「オーロラ」

参加者：約100名



横浜市主催レセプション

11月14日（水）18：00-20:00

場 所：3階「パシフィック」

参加者：約200名



ネットワーキングランチ

11月14日（水）12:30～14:00

11月15日（木）12:00～14:00

場 所：3階「パシフィック」参  
加者：約300名／200名

横浜市国際局国際協力課 アジア・スマートシティ会議担当

[ki-asc@city.yokohama.jp](mailto:ki-asc@city.yokohama.jp) TEL 045-671-4703

